

令和4年度 第1回さいたま市民大学運営委員会 議事録

1 開催日時

令和4年7月19日（火） 午後2時から午後4時まで

2 開催場所

生涯学習総合センター 10階 多目的ホール

3 出席者

〈委員：10名〉

- ① 神保 富美子 委員長
- ② 安藤 陽 副委員長
- ③ 飯塚 真澄 委員
- ④ 井上 直也 委員
- ⑤ 岩井 寛和 委員
- ⑥ 桑原 静 委員
- ⑦ 寺田 道子 委員
- ⑧ 難波 陽子 委員
- ⑨ 羽諸 英臣 委員
- ⑩ 平田 利雄 委員

〈事務局：7名〉

生涯学習総合センター

- ① 館長 中村 幸司
- ② 参事兼副館長 中村 和哉
- ③ 主幹兼事業・企画係長 野口 みずほ
- ④ 事業・企画係主査 曾根 啓佑
- ⑤ 事業・企画係主事 藤田 雄一郎
- ⑥ 社会教育指導員 渡邊 京子
- ⑦ 社会教育指導員 永井 紀美子

4 欠席者名

〈委員：1名〉

- ① 青木 光美 委員

5 報告事項

- (1) 令和3年度さいたま市民大学実施結果について
- (2) 令和4年度さいたま市民大学実施状況について

6 協議事項

(1) 令和5年度さいたま市民大学各コース（案）について

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

0名

9 開会

委員交代のため、新任委員に委嘱状の交付を行った。

10 報告内容

(1) 令和3年度さいたま市民大学実施結果について、事務局から資料1を基に説明。

以下、質疑等の内容

桑原委員	総合振興計画の目標を39歳以下の参加者にしている目的は何か。
事務局	公民館を利用していない若い世代を取り込もうという目的があった。過去の公民館運営審議会で、青少年の利用者を増加していくべきという答申をいただいたことも関係している。
桑原委員	資料1-3、「講座を何で知ったか」について、世代別等でのクロス集計はしているか。
事務局	クロス集計はしていないので、次回までに確認する。
桑原委員	「学びや気づきがあった」の割合が低くても講座満足度が高いものもあれば、逆のものもあるようだが、学びや気づき以外で何が満足度に影響していると思うか。
事務局	講座満足度は、講座内容だけでなく資料の見やすさや空調などいろいろな要素に影響されると考えられる。学びや気づきについては、講座の内容について新たな発見等があったか、で判断されていると受けとめている。
岩井委員	参加者の在住区を見ると、住民数から考えて旧大宮市の参加者が多く旧浦和市の参加者が少ないように見える。 大宮区を会場とした講座が多いためとも考えられるが、今後浦和エリアに力を入れる、といったことはあるのか。

事務局	参加者数で比較すると、区毎の偏りは見られない。主に会場としている生涯学習総合センターは交通の便が良く、ホールの環境もいいため、全区的に会場を設けることは考えていないが、いずれにしろ受講者が参加しやすい会場で実施していきたい。
井上委員	難易度が高い、というアンケート結果もあったとのことだが、高度で専門的、という点では難易度は気にしなくても大丈夫か。
事務局	難しさは受講者によって感じ方が異なり、講座によっては難しい方がかえって満足度が高いということもあった。事務局として、難易度自体に基準を設けるつもりはない。
平田委員	受講者は進んでこうした講座を受けに来ているのだから、満足度が高いのは当然といえる。学びや気づきがあった、という声こそ、「来てよかった」と思った数値に近いと思う。
寺田委員	受講者数を見ると、応募者が多く抽選をしたにも関わらず、実人数は定員を下回っているものもある。キャンセルがあるのは当然だが、より多くの人を受けられる形にならないか。
事務局	事前キャンセルがあった場合には、繰り上げ当選として受講していただけるよう連絡している。定員を超える受講者を受け入れる、というのは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からの状況もあり難しい。

(2) 令和4年度さいたま市民大学実施状況について、事務局から資料2を基に説明。

※令和4年度6月までに開催された各講座の様子を5分程度の動画にて視聴。

以下、質疑等の内容

難波委員	今視聴した動画をもっと活用した方がいいのではないかな。
事務局	講師の許諾等が得られれば、さらに編集しe公民館等で活用したい。
平田委員	魅力Ⅰの応募者が少なかったのは衝撃。盆栽や人形に興味を持つのは小中学生より上の世代なのではないか。魅力Ⅱもお盆の時期なので、運営は大変だと思う。
事務局	魅力Ⅰは各回の内容が異なっており、テーマが絞れていなかったもので、講座自体をテーマ別に分けてもよかったと反省している。 魅力Ⅱは定員を上回る応募をいただいている状況である。

難波委員	魅力 I については、学校へ周知すればよかったのではないか。
事務局	学校の職員向けには周知を行ったが、全校へのチラシ配布については配布部数が膨大になることから実施を見送った。
羽諸委員	公民館やコミセンなど、他館の事業と時期や内容がバッティングすると応募が少なくなるのではないか。他館の事業を調査しているか。
事務局	公民館事業については、センターで取りまとめているので把握できる。 市長部局等の事業については把握しきれない。
岩井委員	市民企画コースが好評だったようだが、来年度継続することは可能か。
事務局	興味関心の高いテーマであることが分かったので、可能であれば来年度の講座でも取り上げたいと考えている。 なお、市民企画コースとして応募があれば、プレゼンテーションに参加していただく。

11 協議内容

(1) 令和5年度さいたま市民大学各コース（案）について、資料3を基に説明。

以下、質疑等の内容

平田委員	オンライン講座であれば、定員は設定しなくていいのではないか。
事務局	出席者の管理が必要なので、Zoom 等の場合でも一定の制限は必要と考えている。
桑原委員	昨今の社会情勢を踏まえて、社会学的な観点から自分の生き方を考える、という講座がいいのではないか。（ジェンダー、多様性、社会情勢等）
岩井委員	若い世代が、元気、パワー、勇気をもたらえる、かつ、さいたま市ならではの特色を出せるような講座はどうか。若い世代へ PR するなら、地域で活躍する著名人を講師にするなど。地域のスポーツで思いつくところだと、サッカーJ リーグの選手、OB、指導者、高校野球強豪校の監督など。
平田委員	サッカー日本代表選手や監督、卓球、バレーボール、自転車、バスケット、ボクシングなど、さいたま市とゆかりのあるスポーツ選手はたくさんいる。相談もできと思う。
寺田委員	家族関係で、今年度は遺言・相続の講座があったが、介護等いざ自分が当事者に

	なったらどうしたらよいかを学ぶことも必要だと感じる。親の介護、ヤングケアラー、子ども食堂、引きこもりに関する事など、様々なテーマがある。
安藤委員	例年、市長部局との連携講座があったと思うが、来年度はどうか。
事務局	生涯学習部内での連携講座が複数あるため、市長部局との連携は現在考えていない。
飯塚委員	「この講座を受けると、何を学べて自分がどうなれるのか」という結果が明瞭だと、受講したいという意欲が沸くように思う。パソコンコースを受講するとパソコンに詳しくなる、暮らしとお金コースを受けると相続がわかる、など。

12 その他

令和4年度運営委員会等のスケジュールについて、事務局から資料4を基に説明。

13 閉会